

海津市 認知症地域支援推進員 活動事例

認知症の人と家族を 支える地域づくり

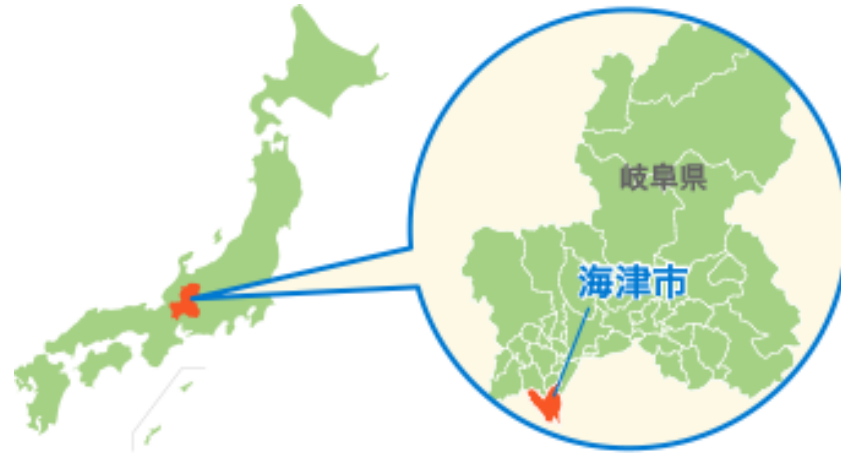
～ 住民や関係機関との取り組み ～

海津市健康福祉部 高齢介護課

地域包括支援センター 保健師 若山 美和子



海津市の概要



平成28年7月1日現在

人口	35,378人
高齢者数	10,581人
高齢化率	29.9%
日常生活圏域数	1圏域
在宅介護支援センター	4ヶ所
地域包括支援センター (市役所高齢介護課内)	1ヶ所(市直営)

認知症地域支援推進員

2名 (保健師 兼務)

平成27年7月～配置

地域別高齢者の状況

平成28年7月1日現在

地区名	高須	吉里	東江	大江	西江	今尾	海西	城山	石津	下多度	海津市全体
人口 (単位:人)	6,120	1,737	1,772	1,680	1,694	4,503	2,720	5,701	7,327	2,124	35,378
世帯数 (単位:世帯)	2,016	543	548	589	514	1,438	820	1,882	2,634	755	11,739
高齢者数 (65歳以上) (単位:人)	1,738	521	503	526	509	1,301	790	1,678	2,309	706	10,581
後期高齢者 (75歳以上) (単位:人)	754	242	239	253	204	626	363	811	987	366	4,845
高齢化率 (単位:%)	28.4	30.0	28.4	31.3	30.0	28.9	29.0	29.4	31.5	33.2	29.9

認知症高齢者の推移

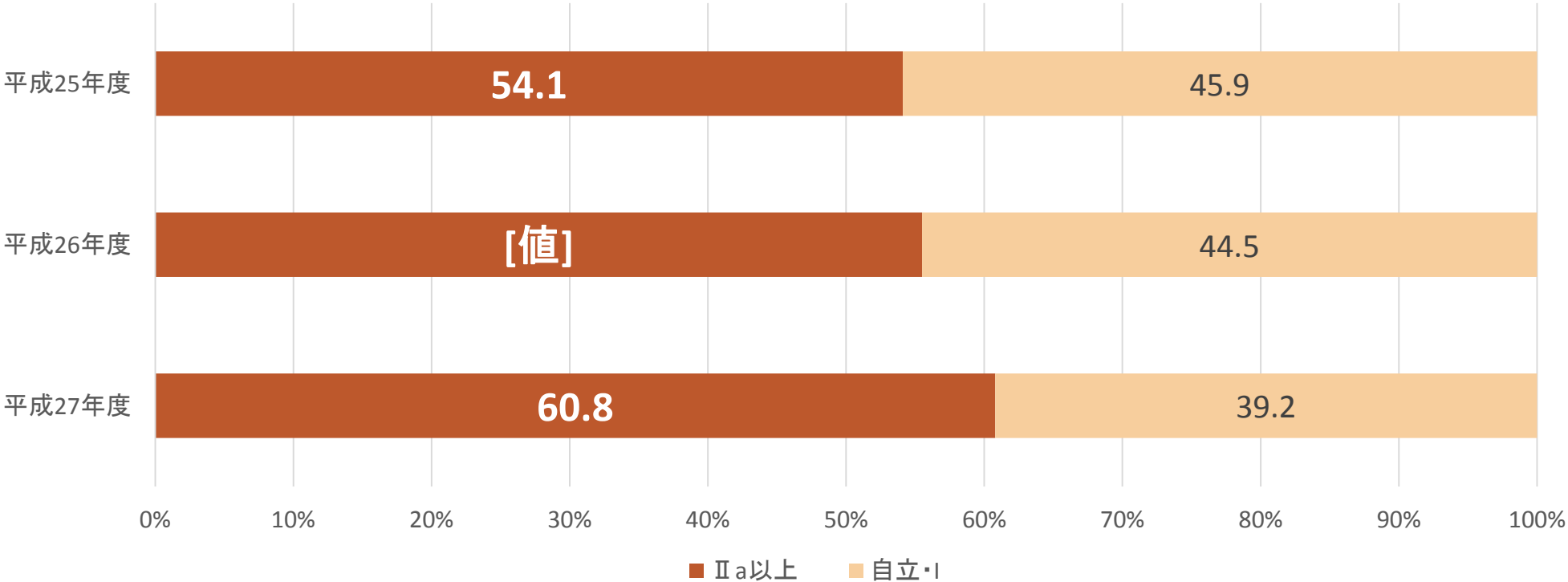
	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
自立	338	22.3	332	21.0	273	16.5
I	357	23.6	372	23.5	376	22.7
II a	129	8.5	171	10.8	222	13.4
II b	359	23.7	351	22.2	392	23.7
III a	188	12.4	206	13.0	227	13.7
III b	36	2.4	57	3.6	48	2.9
IV	77	5.1	65	4.1	103	6.2
M	30	2.0	27	1.7	14	0.8
合計	1,514人	100.0%	1,581人	100.0%	1,655人	100.0%

前年度の10月1日～該当年度6月30日までの介護保険申請者の認知症高齢者自立度割合〔認定調査員の判断〕を該当年度の10月31日現在の認定者数で按分した

認知症高齢者の推移



	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
Ⅱa以上～ Mまでの計	819人	54.1%	877人	55.5%	1,006人	60.8%



海津市の理念や目標、 認知症施策を確認する



海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 (H27～29)

【基本理念】

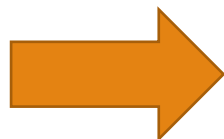
みんなで創ろう健康長寿都市

【目標】

安心介護の海津市
(安心介護サービスの充実)

健やかに暮らせる海津市
(介護予防・生活支援の推進)

いきいきと支えあう海津市
(社会参加と支えあいの体制づくり)



地域包括ケアシステムの充実

認知症施策の推進

- ① 認知症対策の総合的な推進
- ② 地域での認知症予防活動の推進
- ③ 認知症高齢者の介護環境の整備
- ④ 認知症サポーターの養成
- ⑤ 認知症に関する相談の充実

「連携」「協働」の基本

海津市の課題を把握し、整理する



<本人や家族>

- ・知られたくないという思いが強く、進行してから相談される困難事例が増加
- ・身近な相談窓口を知らない
- ・認知症とわかっていても、本人や家族が受容できず、医療や介護につながらない
- ・家族が相談したり、情報交換をする場が少なく、精神的・身体的な負担が軽減できない

<住民>

- ・認知症は知っているが、身近な問題ではない
- ・認知症になると、施設入所や病院に任せることが望ましいと思っている
- ・教室や講座の受講者が少なく固定化している

認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

海津市の課題を把握し、整理する



<地域生活の場>

認知症への理解が低い

- 住民同士の支えあいの仕組みがわからず、介護困難な時にサポートしてくれる人がいない。排他的な人も多い
- どのように対応したら良いのか分からない
- 認知症になると、施設入所や病院に任せることが望ましいと思っている
- 認知症の人が道に迷ったり、行方不明の時、連絡先・対応方法がわからない
- 認知症の人かどうか、わかりにくい

認知症の人やその家族・
介護者を地域で支える
支援体制づくり

海津市の課題を把握し、整理する



<医療と介護>

- 病院受診につながっても介護との連携が困難
- 継続して医療が受けられない
- サービスが中断しても本人や家族から連絡がないと放置したままで進行した事例がある

多職種、関係者の
多面的な連携による
早期発見、継続的包
括的支援

平成27年度に立ち上げ
(年2回実施)
地域ケア推進会議の
1つとして位置づけ

認知症対策推進検討委員会



<委員会のメンバー>

- ・海津市医師会
- ・海津市認知症サポート医
- ・認知症の人と家族の会代表
- ・海津市介護支援専門員連絡会会長
- ・グループホーム ホーム長
- ・海津市自治会連合会
- ・海津市社会福祉協議会
- ・海津市老人保健施設
- ・海津市民生委員児童委員協議会
- ・海津警察署
- ・地域包括支援センター

- ・地域の現状と課題
- ・各団体からのご意見
- ・どのような認知症施策が必要か



海津市の認知症施策

認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

- ・出前型認知症予防教室
- ・認知症サポーター養成講座
- ・認知症チェックサイト開設
- ・市報かいつ「認知症」特集を掲載

認知症の人やその家族・介護者を地域で支える支援体制づくり

- ・認知症対策推進検討委員会（地域ケア推進会議）
- ・認知症地域支援推進員を配置
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・徘徊高齢者等SOSネットワーク事業
- ・徘徊高齢者等位置探索システム利用助成事業
- ・認知症カフェ「オレンジ ほっと カフェ」の開設
- ・キャバンメイト連絡会
- ・在宅・医療の連絡ノート「つながり」作成

市報かいづ 「特集」掲載

認知症チェックをしてみませんか？

～ご自身でもご家族でも簡単にチェックできます～

	ほとんどない	ときどきある	頻りにある
①同じことをいつも聞く（または言う）と言われますか？	0点	1点	2点
②知っている人の名前が思い出せないことがありますか？	0点	1点	2点
③探しのものが多いですか？	0点	1点	2点
④漢字を忘れることがありますか？	0点	1点	2点
⑤今しようとしていることを忘れることがありますか？	0点	1点	2点
⑥器具の使用説明書を読むのが面倒ですか？	0点	1点	2点
⑦理由も無いのに気がふさぐことがありますか？	0点	1点	2点
⑧以前にくらべ、身だしなみに興味がなくなりましたか？	0点	1点	2点
⑨外出がおっくうですか？	0点	1点	2点
⑩物（財布など）が見つからず、誰かがどこかへ行ったと聞くことがありますか？	0点	1点	2点

①から⑩の合計を計算 → 合計点 点

14～20点：「要診断」認知症の初期症状が出ている可能性があります。
9～13点：「注意」認知症予防に気を配りながら生活をしましょう。
0～8点：「正常」もの忘れも老化現象の範囲内です。

認知症の診断には医療機関での受診が必要です。お早めに認知症サポート医やかかりつけ医を受診しましょう。



このチェックリストは、ご本人向けの「わたしも認知症？」(大友式認知症予備テスト)です。
市のホームページ内の「認知症簡易チェックサイト」では、「家族・介護者向け」も掲載しています。



【認知症サポーター養成講座】

認知症サポーターとは、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に向けて養成された認知症を理解する応援者で、認知症の人とその家族を温かく見守り支援します。
養成講座では、認知症に関する基礎知識や認知症の人の対応方法などを学習します。
認知症サポーターになりませんか？
8名以上集まれば、講師の派遣が可能です。

オレンジほっとカフェ

毎月第4木曜日開催
認知症の人、介護している人、認知症に関心のある人、誰でも参加できます。

日時 2月25日(木) 午後1時30分～3時30分
場所 海津総合福祉会館「ひまわり」1階談話室
参加費 200円(飲み物とお菓子付き)

お茶を飲みながら、「ほっと」一息つきませんか？
専門の相談員がみなさまのお越しをお待ちしています。

【認知症予防出前講座】

認知症の原因や症状、また認知症を予防するためのポイントを学び、簡単な脳のトレーニングを体験してみませんか？
集会所や公民館などの身近な場所へ講師が出向きます。
お気軽にお申し込みください。

一人で抱え込んでいませんか？ お気軽にご相談ください！

身近な相談窓口 (午前8時30分～午後5時15分 ※土・日・祝日を除く)

■地域包括支援センター (市役所東館1階)	■在宅介護支援センター南濃 (南濃総合福祉会館「ゆとりの森」内)	☎ 55-2300
☎ 53-3030	■在宅介護支援センター海津 (海津総合福祉会館「ひまわり」内)	☎ 53-4141
■高齢介護課 (市役所東館1階)	■在宅介護支援センター平田 (平田総合福祉会館「やすらぎ会館」内)	☎ 66-3899
☎ 53-1145		

知ろうよ『認知症』

～65歳以上の約4人に1人は認知症またはその予備軍～
(厚生労働省調べ)

市の要介護認定者数 約1,650人
うち 認知症のある認定者数 約1,000人 (平成27年10月現在)

認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が萎縮したり、異変が起きて働きが悪くなります。記憶・判断力の障がいなどが起こり、意識障害はないものの社会生活や人間関係に支障が出ている状態をいいます。今回、脳の病気「認知症」についてのお話を、認知症サポート医の関谷道晴先生に伺いました。

養南病院 院長 関谷道晴先生にインタビュー

誰にも起こりうる脳の病気、「認知症」について

高齢者だけでなく、若年性の認知症もあり、決して他人事ではありません。

認知症の初期症状は？
同じ事や同じ話を何度も繰り返したり、置忘れや物忘れが多くなる。また好きなことに対して興味がなくなる。今日の曜日や月日が分からなくなる。財布やお金を盗まれたと思いつくなどが、主な症状です。
認知症という病気の特徴は、ある程度症状が進むと自分から新しくていなる傾向があり、周囲が不安に思っても、本人が自覚できず見過してしまふ場合があります。

早期発見のポイントとは？
本人や家族、周囲の人が「あれ？ちょっといつもと様子が違うかな？」と思ったら、それは大事なサインです。
そう感じたら認知症サポート医（認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行う医師）やかかりつけ医、地域包括支援センターなどに相談してください。
軽い段階で診断・治療ができること、進行を遅らせることができ、さまざまな問題行動や心理症状（周辺症状）の出現を遅くする効果も報告されています。早期発見、早期治療による効果は、本人の不安などや家族の介護負担を軽減することにも繋がります。

認知症を正しく理解してください
一番大切なことは、地域住民一人一人の認知症への理解です。ご本人に接したり見守るのは、家族や身の回りの人、あるいは地域の人です。地域の支援と周囲の理解がないと難しい状況となり、放置した結果、病気が進行してしまうケースが後を絶ちません。だからこそ認知症に対して正しく理解し、見守り、声をかけあうことで、認知症の人や家族が抱えている不安や困難を少しでも減らすことができます。また自分や周囲に予兆があったときも、すぐに気づくことができます。
この病気を他人事ではなく、自分の事として、少し考えてみてください。
認知症になっても残存能力はたくさんあります。その人の尊厳を損なうことなく、心に寄り添いながら、サポートすることが重要なことです。



認知症について理解を深めていただくために、
認知症サポート医の紹介と
インタビュー記事を掲載

平成28年
6月号

認知症介護者の生の声と地域で見守る民生委員さんの声を掲載



新しい認知症支援体制がスタート
誰もが安心して暮らせるまちへ

認知症と向き合う ～隔さずに、病気を受けとめる～

認知症になった人が、住み慣れた場所で、自分らしく過ごしていくにほどうしたら良いのか。市内に住む認知症の夫を介護する家族と、地域で支える民生委員さんにお話を伺いました。

認知症介護者の生の声

主人は以前から自宅付近を散歩していましたが、帰ってこられなくなることが多くなりました。毎日何度も歩き出かけていき、目が離せざ本当に大変です。地域が頼りて戻ってこない主人を近所の人や喫茶店の店主が「ここにきてよ」と教えてくれます。帰れて住む子どもや主人の兄弟等が心の支えになっています。また、近所の人や民生委員さんが親身になってくれたから、相談することができました。まだまだ、この先の不安はありますが、主人も病状と向き合っています。一緒に向き合います。

160代 女性

地域で見守る民生委員さんの声

いつものように朝、散歩中のご主人に挨拶をする時、気づき始めるようになりました。「様子がおかしいな」と思い、奥さんに声をかけました。すると「認知症だね」と言い口を私に聞いてくれました。家族以外の私に話すことはとてもためらいがあったと言います。私の父も認知症で、毎日苦悶しながら介護する時の姿をみてきたので、辛さは伝わってきました。だからこそ、自分に何が出来るんだらうと。そこで、地域の寄り合いで奥さんにご主人のことを話してもらいました。距離の認知症の理解が深まれば、家族も安心して暮らすことができるはずですからね。そんな声を広めていきたいと思っています。

160代 民生委員

認知症は誰にでも起こり得る「脳の病気」です。認知症の本人を一番近くで支えるのは家族です。時には病状の進行に個人限り、不安になったり、辛い思いをすることもあります。

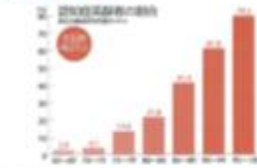
ひとりで悩まないでください

そのための対策として・・・

認知症の早期発見・早期対応をめざして

「認知症初期集中支援チーム」が
お手伝いします

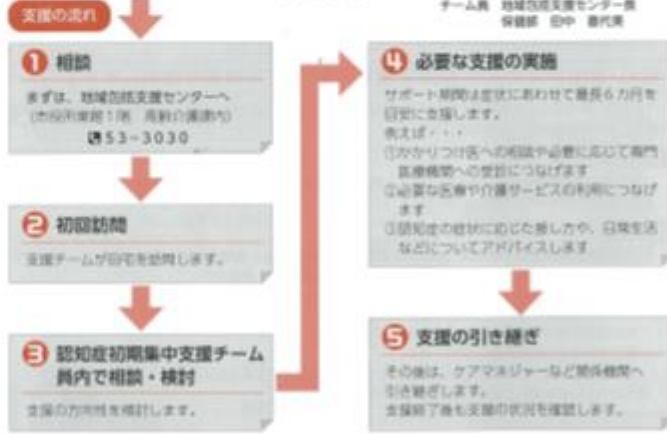
【認知症初期集中支援チームとは？】
認知症サポート課、保健課、看護課、社会福祉士、介護福祉士などの専門職のチームです。



認知症の増えで訪れる人の多くは、心身ともに限界になってから相談に来られます。重症化する前に私たち支援チームは、認知症の専門職として医療機関などと協力し、対応します。今できることを一緒に考えていきますので、抱え込まずに相談してください。



チーム長 地域包括支援センター長 保健課 田中 義代 氏



認知症の人、その家族への支援は、地域の見守りや社会の取り組みが不可欠です。

認知症初期集中支援チームの紹介と相談窓口の周知

徘徊高齢者SOS
ネットワーク事業
について掲載

地域で見守るためにできることは・・・

徘徊高齢者を発見するために、地域のネットワークで協力します

家族だけでなく地域の支援を得て、認知症により徘徊の恐れがある高齢者等の早期の保護、安全の確保に努め、家族の介護負担を軽減し、安心して介護できるよう支援していきます。

事前登録

認知症による徘徊行動がある在宅の高齢者等で事前に登録をした人に無料で靴用スタッカー（紫外線で光に反応します）を配布します。



行方不明になった場合



行方不明時

行方不明になった時、警察や家族からの連絡で「行方不明高齢者発見協力依頼書」を使用して、関係機関、協力機関に必要な情報を提供します。靴用スタッカーなどを履きに装着し、早期発見にご協力いただけます。

安心・安全のために徘徊探知機(GPS)の初期費用を助成します

行方不明になった人の早期発見と家族の負担軽減のために、徘徊探知機(GPS)を利用するという方法があります。その初期費用の一部を助成します。

対象

65歳以上の認知症による徘徊行動がある高齢者を介護している人で、本人・家族ともに市内に住所を有する人

助成内容

市は利用開始に伴う初期費用（新規加入手数料（登録手数料）、充電器の購入費用）のうち、7,000円を上期に消費税を加算した金額を助成します。（※利用者1人1回限り）

助成手続きの流れ

- ①利用希望の家族からの申請後、市による確認
- ②指定事業者と利用者家族で契約・支払い
- ③利用者家族が市へ助成金請求/領収書と指定事業者との契約書の写しを提出
- ④市から利用者家族へ助成金（初期費用の一部）を支給

利用料金内容

利用料金、検索費用、現場急行検閲費用などは全部利用者負担です。

地域包括支援センター 53-3030



オレンジ ほっと カフェ

お茶を飲みながら、「ほっと」一休みしませんか？
認知症の人、介護している人、認知症に関心のある人、誰でも参加できます。
専門の相談員が皆さんのお話をお待ちしております。
「認知症の人と家族の会」の会員も、オレンジ ほっと カフェで悩みを聞いてくださっています。



※（認知症）の介護で毎日奮闘しています。
悩みや苦しみを話すことで胸につかえていた
気持ちをはき出してみませんか？
一緒にお話しましょう。
〔認知症の人と家族の会〕

毎月第4水曜日開催
日時 6月23日(木)
午後1時30分～3時
場所 海津総合福祉会館「ひまわり」1階談話室
参加費 200円（飲み物とお菓子付き）



公益社団法人「認知症の人と家族の会」

1980年結成。全国47都道府県に支部があり、約1万1千人の会員がいます。
認知症の本人や家族が集まり、悩みや苦しみを話し合うつどいの開催や、介護体験、役立つ情報など貴重な出る会報を発行しています。相談会も実施しています。



家族の会

お気軽にご相談ください！

- ※近況相談窓口（午前9時30分～午後5時15分 土日祝日も休む）
- 地域包括支援センター（市役所東館1階） 53-3030
 - 高齢介護課（市役所東館1階） 53-1145
 - 在宅介護支援センター海津 53-4141
 - 在宅介護支援センター平田 56-3889
 - 在宅介護支援センター地蔵 55-2300
 - 在宅介護支援センター（中とりの森）内



認知症カフェ
の紹介

出前型認知症予防教室

- ・市の出前講座に登録
- ・サロンや老人クラブの総会でPR
- ・メディアにてPR 等



キャラバンメイト連絡会

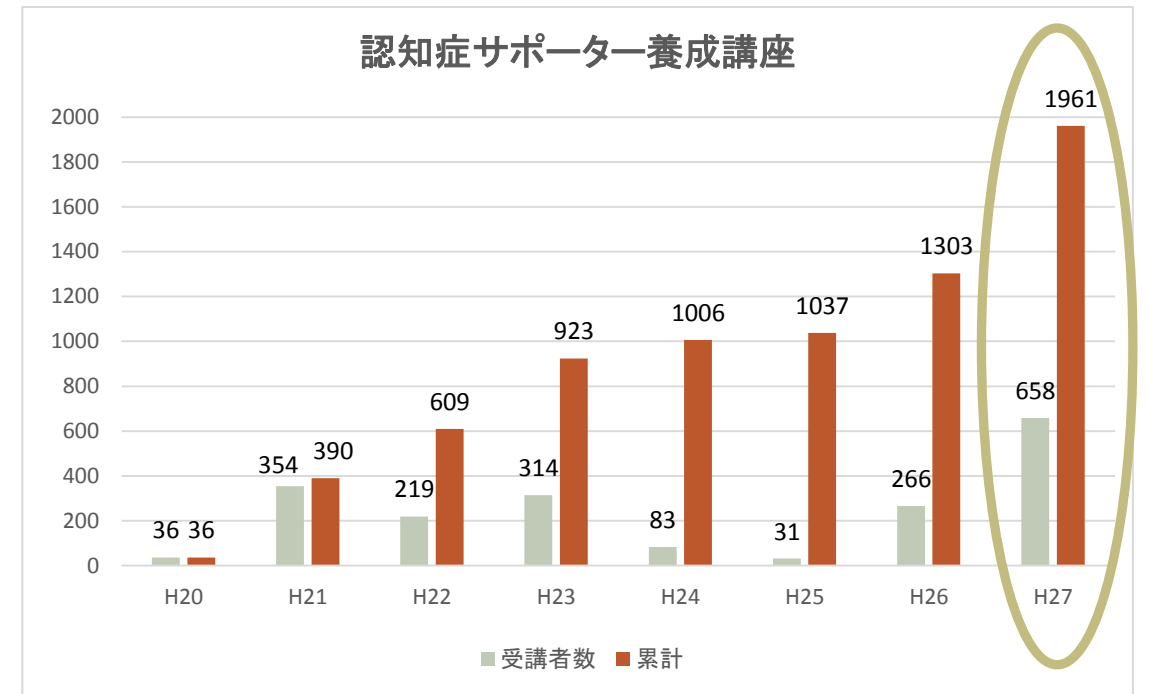
 キャバンメイトとの協働

- ・キャラバンメイト 22名

介護サービス事業者
ケアマネジャー等

横のつながりを作る

- ・実施状況や活動について、
また今後の取り組みについて
話し合う
- ・キャラバンメイトに講師を依
頼し、現場の声や適切な対
応について啓発し理解を深
める
- ・**お互いの持ち味を生かす**



オレンジ ほっと カフェ (市直営)

平成27年7月～
開始

- ・ 日 時 毎月第4木曜日
午後1時30分～3時
- ・ 場 所 海津総合福祉会館 ひまわり 1階 談話室
- ・ 参加費 200円
- ・ 内 容 約15分程度のミニイベント
 - 認知症に関する講話(認知症の理解、対応、予防など)
 - ミニコンサート(お琴、ハンドベルなど)
 - スタッフによるレクリエーション
- ・ 運営費 カフェ運営物品
 - 飲み物代(コーヒー、紅茶など)
 - お茶菓子代(市内のお店から取り寄せ)
 - スタッフへの報酬

《案内チラシ》



オレンジ ほっと カフェを支える 『 スタッフ 』

- ・平成27年度までの脳トレ教室のサポーターに協力依頼
サポーターを公募して依頼したので、**積極的なスタッフばかり**
- ・認知症の人と家族の会会員の **生の声** を伝えていこう！
- ・認知症地域支援推進員や地域包括支援センター職員がスタッフに加わり、**敷居の低い相談場所**であり、医療・介護・福祉の入り口として、認知症ケアにつなげることができる



いろいろな人の「**つながり**」を大事にして、
カフェの内容を充実させていこう



オレンジ ほっと カフェ



《みんなで歌を合唱「ふるさと」》



👉 いろいろなニーズに対応

《ハンドベル演奏》



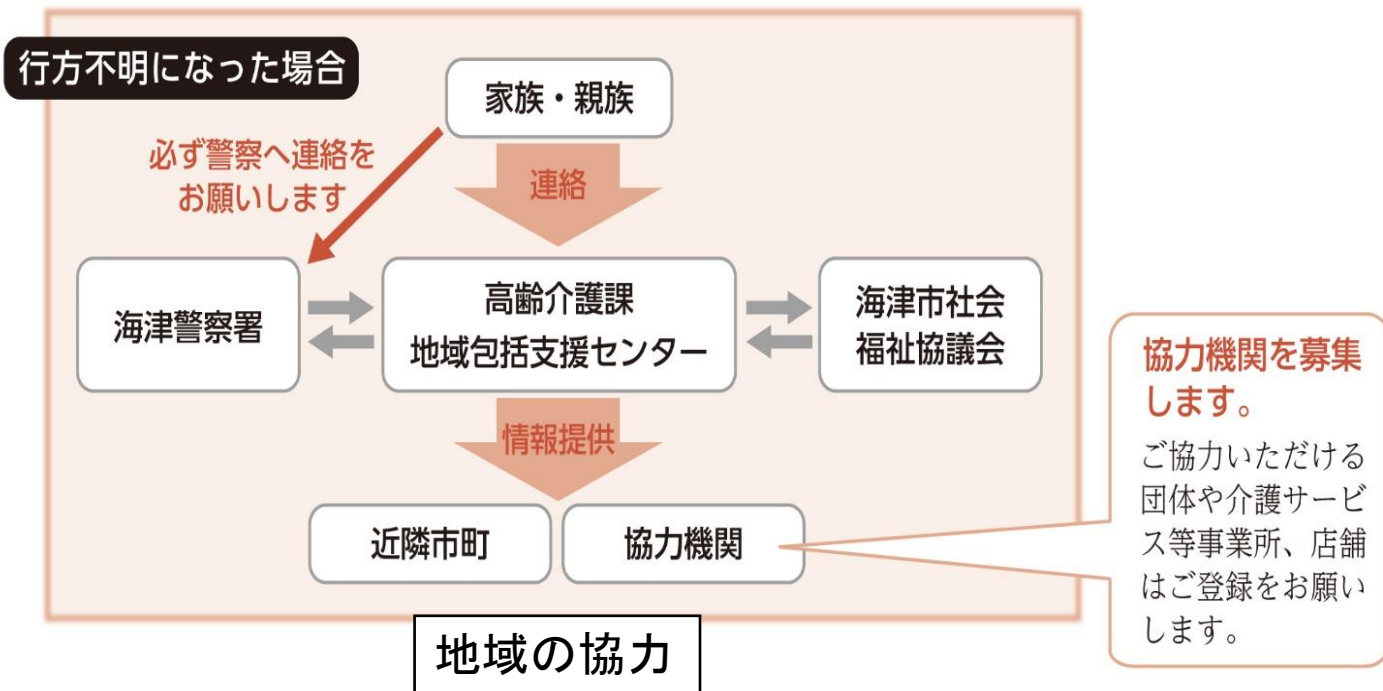
《 スタッフ手作りの案内看板》



《認知症の人と家族の会の会員の話》



海津市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業



平成28年6月2日



海津警察署、海津市社会福祉協議会と
海津市間で協定を締結しました。

海津市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業

 地域の理解・見守り

▶ SOSネットワーク協力機関として

現在 **81か所** (銀行、スーパー等)



事前登録者に靴用のステッカー(蛍光色で光に反射)
を無料配布



海津市における 認知症初期集中支援事業の経過

年度	内容
平成27年度	<p>認知症対策推進検討委員会を設置(地域ケア推進会議)</p> <p>海津市医師会長へ配置について相談 認知症サポート医 1名</p> <p>海津市医師会主催による「みんなで取り組もう認知症対策」 講演会を実施</p>
平成28年度	<p>海津市医師会 総会にて協力依頼 認知症初期集中支援チームを地域包括支援センター(市直営)に設置 5月～ チーム員会議を月に1回 開始する 認知症サポート医 2名</p> <p>ケアマネ連絡会、市報等にて周知</p>

海津市初期集中支援チーム員の構成

職種	所属	人数
医師	海津市医師会	2名 (サポート医)
看護師	在宅介護支援センター (社会福祉協議会)	1名
	地域包括支援センター	1名 (*主任ケアマネジャー)
社会福祉士	在宅介護支援センター (社会福祉協議会)	2名
	地域包括支援センター	2名 (*うち主任ケアマネジャー1名)
保健師	地域包括支援センター	4名
合計		12名



認知症地域支援推進員としての 活動の課題

- ①地道な普及啓発活動
- ②住民や関係機関とのつながり
- ③イベントで終わることなく継続的な
取り組み

認知症地域支援推進員として…

- **つながりをつくる**

住民、地域、医療、介護…

拡大していく

- **ネットワークの構築**

常にアンテナを張る





ご清聴ありがとうございました。

海津市マスコットキャラクター
「かいづっち」

LINEスタンプ販売中です！

